

# 特別教育プログラム 「Global Youth」



気候変動・環境保全、格差・貧困問題、  
食糧・エネルギー、感染症、  
高齢化、紛争 etc.



目的： グローバルに拡大し、私たちの日常生活にも大きな影響を及ぼす開発課題解決のため、国内外を舞台に理論的、実践的にリードしていける人材の育成。

キーワード： 様々な領域にまたがる英知を養い、特に途上国の文化や宗教、生活習慣など異なる価値観を超えて、新しい価値を模索、創造。



## 特別教育プログラム 「Global Youth」

### 特徴

- ① 所属する学部の特門性重視。
- ② 分野横断的な基礎知識と国際開発の特門知識や国際的な感性を養う。
- ③ 全員が米国留学(2年次)。
- ④ 全員が開発途上国において開発関係機関、企業、NGO等でインターンシップを経験。
- ⑤ ほぼ全員が卒業時にはTOEIC800点以上に到達。





## 特別教育プログラム「Global Youth」

- 特別教育プログラム「GY」は、選抜プログラム  
9月の選抜試験の受験申請時までにTOEICスコアが600点以上に達していることが必要です。
- 募集人員：15名上限
- 選抜試験：9月に実施
  - ①前期授業の成績、②小論文、③TOEICスコア、④面接（英語を含む）
- 授業科目と修了認定必要単位： 50単位

### 【必修科目（32単位以上）】

開発の概念、開発援助概論、開発と援助の潮流、開発援助における環境、国際開発・援助演習、環境と国際社会、政治学、マクロ経済学、生産原論、Academic Essay Writing I b& II a、Academic Communication Skills I b& II a、「海外の大学において習得した科目」、「GYインターンシップ」

# 特別教育プログラム「Global Youth」

## 【選択科目】( )は開設学部

- 国際政治学入門、国際貿易論入門、国際開発特講 I、II  
(教養学部)
- 日本経済論、開発経済学、経済政策論、経済地理学特講、  
アジア経済論、国際経済論、国際経済論特講、国際開発  
評価論(経済学部)
- 基礎生態学、環境アセスメント、交通システム、建設プロ  
ジェクト、水環境学、環境まちづくり、機械工学入門、  
環境科学概論(工学部)



# 特別教育プログラム「Global Youth」

## 留学

1年間の留学が必須。留学中に最低24単位を修得。

- 留学先(米国)
  - アーカンソー州立大学
  - ワイオミング大学
  - アラバマ大学ハンツビル校
  - ネブラスカ大学オマハ校(予定)



- 留学費用

授業料: 埼玉大学へ納入した授業料が充当されます。  
渡航費・現地生活費: 自己負担。\*

\* 埼玉県奨学金他、支援制度有。





# 特別教育プログラム「Global Youth」 インターンシップ

留学後、身に着けた英語力を屈指して、開発途上国において開発関係機関や企業、NGO等で約3週間のインターンシップに参加(2単位)。  
(インターンシップの渡航費は大学からの補助有。)

## これまでの主なインターンシップ派遣先:

- JICA (スリランカ、インド、ベトナム)
- グラミン銀行(バングラデシュ)、
- 日本工営<コンサルタント会社>(ベトナム)
- V-Shesh<社会企業>(インド)
- 曙ブレーキ(インドネシア)、
- JACリクルートメント  
 <人材派遣会社>(インドネシア)
- 三井住友建設 (フィリピン)
- NICE<ワークキャンプ>(タイ)

等



# GYプログラムスケジュール

| 年次           | 第1四半期<br>(4-6月)                | 第2四半期<br>(7-9月)       | 第3四半期<br>(10-12月)    | 第4四半期<br>(1-3月)       |
|--------------|--------------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|
| 1年次<br>(H25) | 4月8日<br>入学説明会<br>6月<br>GY参加説明会 | 9月 選抜試験               | 10月<br>GYプログラム<br>開始 | TOEFLの受験等             |
| 2年次<br>(H26) | 留学準備                           | 8月中旬 渡米<br>留学開始       | 留学<br>→              |                       |
| 3年次<br>(H27) | 5月帰国<br>→                      | 8-9月<br>インターンシップ°     |                      | 〔 2-3月<br>インターンシップ° 〕 |
| 4年次<br>(H28) |                                | 〔 8-9月<br>インターンシップ° 〕 |                      |                       |

インターンシップ°は就職活動とのタイミングを計り決定。



## 特別教育プログラム 「Global Youth」

- GY1期生  
7名(教養学部4名、経済学部3名)
- GY2期生  
9名(教養学部4名、経済学部4名、工学部<建設工>1名)
- GY3期生  
13名(教養学部7名、経済学部4名、工学部<建設工、機械工>2名)  
米国アーカンソー州立大学に留学中
- GY4期生  
11名(教養学部4名、経済学部4名、教育学部1名、  
工学部<電気電子工>2名)



ASU留学時の1期生:バトン部の友人たちと



# GYについてもっと知りたい人は。。

4月12日、15日、16日の昼休みに行われる履修相談会や、6月に開催予定のGY参加説明会に参加しよう。(日時は大学のWEBや案内板で掲示されるので、見逃さないよう、定期的に確認！)

## GYはTOEIC600点が参加資格。

- 前期からAcademic Essay Writing I aや、Academic Communication Skills I aを受講して英語を鍛え始めよう。
- ERC(英語なんでも相談室)を活用しよう。  
場所:教育機構棟2階 / 開室時間:授業期間中の月~金, 15~17時
- TOEIC公開テストや、大学内で受けられる団体特別受験制度でTOEICにチャレンジしよう。



## TOEIC実施スケジュール(参考)

### □ 公開テスト (<http://www.toeic.or.jp/>)

申込みはインターネット、コンビニで。受験料5,565円

- (180回) 5月26日(日)
- (181回) 6月23日(日)
- (182回) 7月21日(日)(結果8月末受領)

### □ 団体特別受験制度(IP: Institutional Program)

学内で実施。申込みは生協。受験料4,040円

- 5月18日(土)
- 7月13日(土)





# テーマ教育プログラム「世界を翔ける」

- 3つのテーマ教育プログラムの一つ

「社会と出会う」

「環境を知ろう」

★「世界を翔ける」★

- 授業科目：13科目

(詳細はテーマ教育プログラムの履修案内「世界を翔ける」の授業科目を参照)

- 修了認定必要単位：14単位(7科目)以上

認定を希望する場合は3年次後期開始時に所属の学部学務係へ認定申請の手続きを

申請受付  
時期は、学  
部毎で設定  
しているか  
ら予め確認  
してね。



# BBセミナーに参加しませんか？

BBセミナーは、地球規模の問題や開発の課題に様々な形で取り組んでいる大学内外の有識者、先生、先輩から直に話しを聞くことができる少人数のセミナーです。昼休みを中心に開催し、誰でも参加できます。

## 過去に開催したセミナーの例

| 講演タイトル                                     | 講演者            | 所属等                             |
|--|----------------|---------------------------------|
| 平和構築について考える～JICAスリランカ事務所でのインターンシップを終えて     | 鈴木 友里          | 埼玉大学 教養学部4年(GY1期生)              |
| 国際NGOプランジャパンの活動について -途上国の子どもと築く未来-         | 佐藤 活朗          | 公益財団法人プランジャパン(事務局長)             |
| プラネットファイナンスジャパンの活動について -マイクロファイナンスをすべての国に- | 田中 和夫<br>広瀬 大地 | NPO法人プラネットファイナンスジャパン            |
| もしも埼玉大学の学生がネパールのボランティアで学んだら                | 古谷 祐輔          | 埼玉大学 教育学部 4年                    |
| 地熱発電の開発と国際協力                               | 金子 正彦          | 西日本技術開発株式会社<br>執行役員兼東京事務所長      |
| 貧困者の市場への参加と援助協力による支援—西アフリカ仏語圏の事例から—        | 上江洲 佐代子        | 政策研究大学院大学<br>開発フォーラム・プロジェクト研究助手 |
| 気候変動対策支援 - ベトナムの事例 -                       | 森 睦也           | 国際協力機構 企画部次長                    |
| ニジェールでの活動から考える、学校ってなんだろう                   | 山田 真依子         | 海外青年協力隊OB                       |
| 開発途上国における廃棄物問題：スリランカにおける事例研究               | 川本 健           | 埼玉大学 工学部 教授                     |